

# トラフカミキリ

*Xylotrechus chinensis* (Chevrolat)

## コウチュウ目カミキリムシ科

石川県カテゴリー 準絶滅危惧

国カテゴリー なし

### 選定理由

丘陵地や低山地におけるクワの古木の減少により、個体数が激減した。

### 形態

体長は17~26mm。大型のトラカミキリで、がっしりした体形である。頭部は黄色で、前胸背板は前方より黄、黒、赤褐色、黒の順に横帯をもつ。上翅は黄色の地に黒の横斑紋を持ち、スズメバチ類に擬態している。触角は太くて短く、オスでも体長の半分程度である。

### 国内分布

北海道、本州、四国、九州、伊豆諸島、琉球列島。

### 県内分布

白山市、金沢市、津幡町。

### 生態

成虫は7~8月に出現し、クワの生木に集まる。幼虫は生木の衰弱した太い部分の樹皮下を食する。

### 生息地の条件

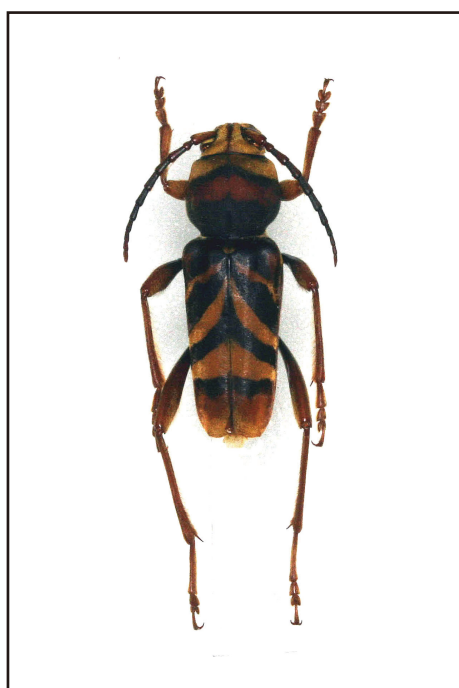
幼虫はクワの古木の衰弱部を食するため、古木が多く残されていることが重要である。

### 生存の危機

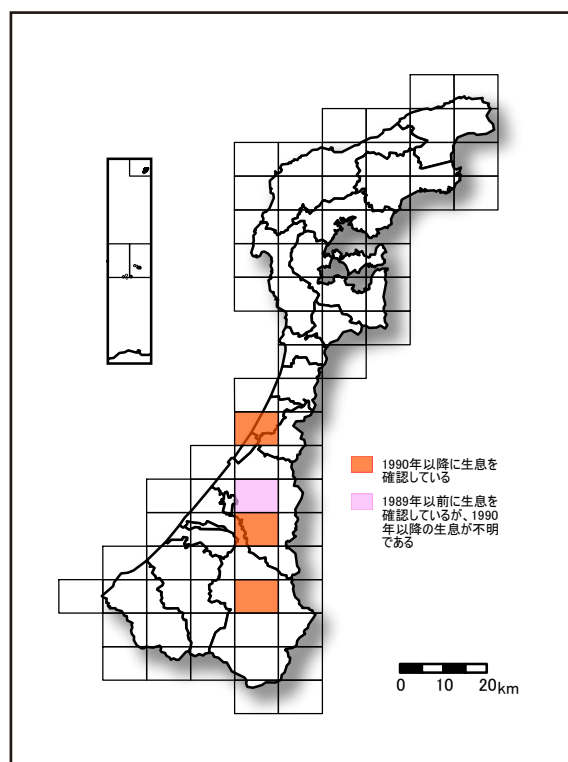
かつては、クワの害虫として養蚕家に嫌われたほどであり、低山地のクワの古木によく見られた。しかし、養蚕が行われなくなったこと、里山の開発が進んだことなどにより、クワの木が減少し、本種の個体数が激減した。(A, B)

### 参考文献

井村正行 1998. コウチュウ目カミキリムシ科. 石川県の昆虫: 197-217. 石川県自然保護課.



標本提供者: 入場登



県内の分布